

## 薬 剤 師 免 許 申 請 書

1 年 月施行第 回薬剤師国家試験合格  
(受験地 ) 合格証書番号第 号

- 2 罰金以上の刑に処せられたことはありません。  
(あるときは、その罪、刑及び刑の確定年月日)
- 3 薬事に関し犯罪又は不正の行為を行ったことはありません。  
(あるときは、違反の事実及び年月日)
- 4 旧姓併記の有無。(有の場合は希望する旧姓)  
有・無

上記により、薬剤師免許を申請します。

年 月 日

本 籍 (国籍)

住 所

ふりがな

氏 名

(男・女)

年 月 日生

電 話 ( )

厚生労働大臣 殿

(注意)

- 1 用紙の大きさは、A4とすること。
- 2 字は、墨、インク等を用い、楷書ではつきりと書くこと。
- 3 収入印紙には、消印をしないこと。
- 4 領収証書は、裏面に貼ること。

## 診 断 書

氏 名				性 別	男	女
生年月日	昭 和 平 成 西 暦	年	月	日	年 齢	才
<p>上記の者について、下記のとおり診断します。</p> <p>1 視覚機能 調剤業務に支障をきたす <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 専門家による判断が必要</p> <p>2 精神機能 精神機能の障害 <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 専門家による判断が必要</p> <p>3 麻薬、大麻又はあへんの中毒 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり</p>						
診 断 年 月 日	年			月	日	
医 師	病院、診療所 又は介護老人 保健施設等の 名称					
	所在地	〒 TEL				
	診療科	氏 名				

## 【注意事項】

※必ずどちらかにを記載してください。

※業務を行うにあたり支障がないと診断した場合は、「該当しない」を選択してください。

なお、既往歴があっても業務を行うにあたり支障がないと診断した場合は「該当しない」を選択してください。

※「専門家による判断が必要」にの場合は、該当項目に係る診療科の主治医又は専門医による詳細な診断書（裏面）をあわせて提出してください。

※障害の状況や合理的配慮について、本人より意見等があれば、別途添付(様式不問)も可(提出は任意)。

「専門家による判断が必要」にの場合は、  
該当項目に係る診療科の主治医又は専門医が裏面を記載してください



表面項目の「専門家による判断が必要」に☑がついた場合のみ記載。

表面の者について、下記のとおり診断します。

診断名：

1. 現在の具体的な治療内容（治療期間、服薬名及び量）

2. 症状の安定性

3. 補助的又は代替的手段があればその具体的内容  
※本人からの聴取を踏まえて記載してください。

4. 業務への支障の程度

5. その他特記事項

診 断 年 月 日		年		月		日	
医	病院、診療所又は 介護老人保健						
	所在地	〒					
師	診療科			TEL	氏 名		

【注意事項】

※診療科が一致する主治医又は専門医が記載してください。